

「献血推進 2014」の進捗状況について

1. 経緯

少子高齢社会化が進む中、血液の安定した供給体制を構築するため、平成17年度から5年間実施した「献血構造改革」の結果及び日本赤十字社が実施した血液需給将来推計シミュレーションの結果等を踏まえ、平成26（2014）年度までの達成目標を設定し、献血推進を行ってきた。[献血推進2014]

2. 「献血推進 2014」の平成25年度までの実績

項目	目標	平成21年度 (2009年)	平成22年度 (2010年)	平成23年度 (2011年)	平成24年度 (2012年)	平成25年度 (2013年)
若年層の献血者数の増加	10代の献血率を6.4%まで増加させる	6.0%	6.1%	5.8%	6.2%	6.3%
	20代の献血率を8.4%まで増加させる	7.8%	7.9%	7.5%	7.5%	7.2%
安定的な集団献血の確保	集団献血等に協力いただける企業・団体を50,000社まで増加させる	43,193社	45,343社	47,137社	49,232社	50,712社
複数回献血の増加	複数回献血者を年間120万人まで増加させる	984,766人	999,325人	1,001,516人	1,003,778人	996,684人

- (1) 若年層の献血率については、10代は、平成23年度に一時低下したが、平成24・25年度と上昇した。20代は、平成22年度に一時上昇したが、その後は、低下している。引き続き、若年層への働きかけを行っていく必要がある。
- (2) 企業献血については、平成25年度の段階で50,000社を超え、目標を達成した。まだ、新規開拓する余地はあるため、引き続き企業献血について働きかけを行っていく必要がある。
- (3) 複数回献血については、着実に数字を伸ばしてきたものの、平成25年度において減少した。血液の安定供給のためにも、引き続き複数回献血者の確保に取り組んでいく必要がある。